

新丸山ダム建設事業の検証に係る検討

報 告 書

(原案)

平成 25 年 6 月

国土交通省中部地方整備局

【注】

本報告書（原案）は、新丸山ダム建設事業の検証に係る検討にあたり、検討主体である中部地方整備局が、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通本省に報告する「対応方針(案)」を作成する前の段階における中部地方整備局としての原案に相当するものです。

国土交通省は、中部地方整備局から「対応方針(案)」とその決定理由等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。

目 次

1. 検討経緯	1-1
1.1 検証に係る検討手順	1-3
1.1.1 治水（洪水調節）	1-3
1.1.2 流水の正常な機能の維持	1-4
1.1.3 利水（発電）	1-5
1.1.4 総合的な評価	1-5
1.1.5 費用対効果分析	1-5
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	1-6
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場	1-6
1.2.2 パブリックコメント	1-8
1.2.3 意見聴取	1-8
1.2.4 事業評価	1-8
1.2.5 情報公開	1-8
2. 流域及び河川の概要について	2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	2-1
2.1.1 流域の概要	2-1
2.1.2 地形	2-3
2.1.3 地質	2-4
2.1.4 気候	2-5
2.1.5 流況	2-6
2.1.6 土地利用	2-7
2.1.7 人口と産業	2-8
2.1.8 自然環境	2-10
2.1.9 河川利用	2-12
2.2 治水と利水の歴史	2-13
2.2.1 治水事業の沿革	2-13
2.2.2 過去の主な洪水	2-14
2.2.3 利水事業の沿革	2-18
2.2.4 過去の主な渇水	2-21
2.2.5 河川環境の沿革	2-26
2.3 木曽川の現状と課題	2-27
2.3.1 治水の現状と課題	2-27

2.3.2 利水の現状と課題	2-33
2.3.3 流水の正常な機能の維持に係る現状と課題	2-33
2.3.4 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	2-34
2.4 現行の治水計画	2-36
2.4.1 木曽川水系河川整備基本方針（平成 19 年 11 月策定）の概要	2-36
2.4.2 木曽川水系河川整備計画（平成 20 年 3 月策定）の概要	2-38
2.5 現行の利水計画	2-41
2.5.1 木曽川水系河川整備基本方針（平成 19 年 11 月策定）の概要	2-41
2.5.2 木曽川水系河川整備計画（平成 20 年 3 月策定）の概要（流水の正常な機能の維持の 目標の概要）	2-41
3. 検証対象ダムの概要	3-1
3.1 新丸山ダムの目的等	3-1
3.1.1 既設丸山ダムの概要	3-1
3.1.2 新丸山ダムの目的	3-1
3.1.3 名称及び位置	3-1
3.1.4 規模及び型式	3-3
3.1.5 貯水容量	3-6
3.1.6 建設に要する費用	3-6
3.1.7 工期	3-6
3.2 新丸山ダム建設事業の経緯	3-7
3.2.1 既設丸山ダムの経緯	3-7
3.2.2 実施計画調査	3-7
3.2.3 建設事業	3-7
3.2.4 水源地域整備計画等	3-7
3.2.5 ダム基本計画告示	3-8
3.2.6 用地補償基準	3-8
3.2.7 各建設工事の着手	3-8
3.2.8 これまでの環境保全への取り組み	3-10
3.3 新丸山ダム建設事業の現在の進捗状況	3-12
3.3.1 予算執行状況	3-12
3.3.2 用地取得及び家屋移転	3-12
3.3.3 代替地整備	3-12
3.3.4 付替道路整備	3-12
3.3.5 工事用道路等整備	3-12
3.3.6 ダム本体関連工事	3-12

4. 新丸山ダム検証に係る検討の内容	4-1
4.1 検証対象ダム事業等の点検	4-1
4.1.1 ダム基本計画の見直し	4-1
4.1.2 総事業費及び工期	4-7
4.1.3 堆砂計画	4-13
4.1.4 計画の前提となっているデータの点検結果	4-17
4.2 新丸山ダム建設事業への利水（発電）参画継続意思の確認	4-18
4.3 洪水調節の観点からの検討	4-19
4.3.1 新丸山ダム検証における目標流量について	4-19
4.3.2 複数の治水対策案(新丸山ダムを含む案)について	4-20
4.3.3 複数の治水対策案の立案（新丸山ダムを含まない案）	4-21
4.3.4 概略評価による治水対策案の抽出	4-113
4.3.5 関係河川使用者等への意見聴取結果	4-115
4.3.6 治水対策案の評価軸ごとの評価	4-121
4.4 流水の正常な機能の維持の観点からの検討	4-132
4.4.1 河川整備計画における流水の正常な機能の維持の目標について	4-132
4.4.2 複数の流水の正常な機能の維持対策案（新丸山ダム案を含む案）について	4-132
4.4.3 複数の流水の正常な機能の維持対策案の立案（新丸山ダムを含まない案）	4-133
4.4.4 概略評価による流水の正常な機能の維持対策案の抽出	4-166
4.4.5 関係河川使用者等への意見聴取結果	4-168
4.4.6 流水の正常な機能の維持対策案の評価軸ごとの評価	4-184
4.5 目的別の総合評価	4-192
4.5.1 目的別の総合評価（洪水調節）	4-192
4.5.2 目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持）	4-197
4.6 検証対象ダムの総合的な評価	4-201
4.6.1 検証対象ダムの総合的な評価の結果	4-201
5. 費用対効果の検討	5-1
5.1 洪水調節に関する便益の検討	5-1
5.1.1 氾濫ブロックの設定	5-1
5.1.2 無害流量の設定	5-1
5.1.3 対象洪水の選定	5-1
5.1.4 氾濫計算に用いたハイドログラフ	5-1
5.1.5 被害額の算出	5-1
5.1.6 年平均被害軽減期待額の算定	5-1

5.2 流水の正常な機能の維持に関する便益の検討.....	5-3
5.3 新丸山ダムの費用対効果分析.....	5-3
5.3.1 総便益.....	5-3
5.3.2 総費用.....	5-4
5.3.3 費用対効果分析.....	5-5
6. 関係者の意見等.....	6-1
6.1 関係地方公共団体からなる検討の場.....	6-1
6.1.1 実施状況	6-1
6.2 パブリックコメント	6-20
6.2.1 意見募集の概要（複数の治水対策案、流水の正常な機能の維持対策案の立案を行った段階）	6-20
6.3 意見聴取.....	6-39
6.3.1 関係河川使用者及び関係地方公共団体からの意見聴取.....	6-39
6.3.2 学識経験を有する者からの意見聴取	6-45
6.3.3 関係住民からの意見聴取	6-52
6.3.4 関係地方公共団体の長からの意見聴取.....	6-57
6.3.5 関係利水者からの意見聴取.....	6-57
6.3.6 事業評価監視委員会からの意見聴取	6-57
7. 対応方針（原案）	7-1

巻末資料
